

2020 年度東海地区協議会研究会第 1 回運営委員会議事録

日 時 2020 年 4 月 28 日 (火) 14 : 00 ~ 16 : 20
場 所 愛知工業大学 (Web 会議)
出 席 加藤・榊岡 (愛知工業大学)、杉山 (藤田医科大学)、大橋 (人間環境大学)、
田島 (愛知学院大学)、山田 (愛知淑徳大学)、石田 (金城学院大学)
山際 (皇學館大学)、丸 (椋山女学園大学)、古川 (中部大学)、
林 (東海学園大学)、澤木 (名古屋女子大学)、松橋 (日本福祉大学)
皆見 (名城大学) 計 13 校 14 名

配布資料 1. 2020 年度東海地区協議会研究会運営委員名簿
2. 2019 年度東海地区協議会研究会事業報告
3. 2019 年度東海地区協議会研究会決算 (案)
4. 2020 年度東海地区協議会研究会事業計画 (案)
5. 2020 年度東海地区協議会研究会予算 (案)
6. 2020 年度研究会再計画案

議事進行は、2020 年度委員長校の愛知工業大学・加藤が担当した。

議 題

1. 2020 年度運営委員について

委員長校から、資料 1 に基づき、2020 年度研究会運営委員体制について確認があった。
なお、委員の交代や新規運営委員の参加があったことから、改めて自己紹介を行った。

2. 2019 年度東海地区協議会研究会事業報告(案)及び決算(案)について

委員長校から、資料 2 及び 3 に基づき報告があった。

- ・ 2020 年 3 月発行の 58 号については、当初の予定より頁数が増加したことに伴い予算超過となったため、超過幅を減額する対応として例年 200 部だった発行部数が 180 部になったとの説明があった。(なお、冊子の送付件数について変更はなし)

3. 2020 年度東海地区協議会研究会事業計画(案)及び予算(案)について

(1) 研究会事業の見直しについて

委員長校から、資料 4 及び 5 に基づき、理事校 (日本福祉大学) より提案があった新型コロナウイルス感染拡大に伴う「2020 年度東海地区協議会前期事業計画ならびに予算の見直し(案)」について 4/23 開催の常任幹事会で審議の上、承認された旨の説明があり、関連する研究会事業計画(案)及び予算(案)に関する変更点が追認された。

【中止等になった事業内容】

- ・ 東海地区協議会総会 (5/28 開催予定) : メール審議に変更・総会後の講演会中止
- ・ 第 1 回研究会 (7/3 開催予定) : 中止
- ・ 実務担当者研修会 (9/1-2 開催予定) : 中止
- ・ 学生協働フェスタ (9/12・11 月下旬頃開催予定) : 中止

また、委員長校から、資料5に基づき、当初予算(案)策定に当たり常任幹事会で承認いただいた下記2点について補足説明があった。

- ・実務担当者研修会参加費について、これまで参加者の昼食代実費を徴収していたが、値上げ等により前年会費(¥2,000)と同額で賄うことが難しいため、超過分については研究会予算から支出する。
- ・グループワークを担当講師の内1名の方に基調講演をお願いするにあたり、同講師については、グループワーキング対応講師料5万円に講演料(『館灯』原稿料込み)3万円を加えた額を謝礼とする。

(2) 『館灯』刊行について

委員長校から、今年度の事業計画見直しに伴い講演録等の掲載内容が減少するため、2020年度の『館灯』刊行は中止とし、2021年度合併号での刊行とすることが常任幹事会で承認された旨の説明があり、このことが追認された。

なお、(1)(2)に関連して、委員長校から次の4点について報告があった。

- ・2020年度事業計画(案)及び予算(案)については修正案を作成し、臨時常任幹事会に諮った上で総会に審議事項として提案される予定。
- ・実務担当者研修会など中止事業については、理事校と協議した結果、事業内容等をそのまま掲載の上「開催中止」等を追記する。
- ・事業計画の見直しに伴い、常任幹事会で理事校から「第1回研究会、実務担当者研修会で予定していた実施内容は、来年度の計画に引き継ぐことを検討」との提案があった。今後は、次年度研究会運営委員長校の椙山女学園大学、主幹事校の日本福祉大学と協議の上、早期に方針を決定したい。

(3) 2020年度第2回研究会について

主幹事校の杉山委員(藤田医科大学)から、資料6に基づき、「再計画案」の説明と実施の提案があった。協議の結果、次のことが承認された。

○方法・内容

- ・主幹事校提案の通り、第1回・第2回の内容をあわせて1日開催とする。
- ・第2回に予定されていた内容は講演のみに変更する。
- ・午前と午後で参加者層がかなり異なることが予想されるので、1部のみ・2部のみでの参加を認める。

なお、対面形式での開催を前提に準備を進めるが、今後の情勢等により遠隔開催も検討してはどうかとの意見があり、それに関して次の意見があった。

- ・90分講演の遠隔となると、無料のWeb会議ツールでは対応が難しいため、有償のツールを使用することが必要となり、その場合は予算措置の検討も必要となる。
- ・遠隔による配信については、演者の許可が必要となる。
- ・CAT2020についてはNII主催の遠隔説明会が実施されているため、第2部については、遠隔開催になると地元開催のメリットがなくなる(対面が望ましい)のではないかと。

○時期

- ・2021年2月下旬～3月上旬を候補として調整する。(現状の新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、第1候補の2020年11月6日(金)開催は見送る)

- ・今後の情勢等により上記日程内での開催が困難になった場合は、中止または次年度への持ち越しを検討する。

○その他

- ・予算については、主幹事校提案の再計画案に基づき策定する。
- ・研究会実施に向けて、秋頃に各大学図書館雇用形態等についてのアンケート調査を実施する。

また、委員から午前中の駐車場利用について質問があり、主幹事校から、午前中は病院の来院者で混み合うが、近年の参加者数（40名程度）であれば使用は可能であるとの回答があった。

4. 東海地区協議会ウェブサイトについて

委員長校から、今年度は実務担当者研修会が中止になったため、研究会事業の役割分担について以下の提案があり、承認された。

【役割分担】

- 研究会担当・・・運営委員全員
- コンテンツ担当・・・名古屋女子大学(澤木)、愛知工業大学(榎岡)、東海学園大学(林)

引き続き、コンテンツ担当の澤木委員（名古屋女子大学）から、東海地区協議会ホームページ関連作業について説明があった。

- ・2020年度研究会事業計画・年間行事ページについては、行事名・開催日を掲載し、中止事業については会場欄に「中止等」を掲載。
- ・更新作業を5月中旬までに完了する予定。
- ・『館灯』58号のJ-STAGE登録作業を5月下旬までに完了予定。

5. 『館灯』58号 要修正事項について

委員長校から、『館灯』58号掲載講演録の要修正事項について報告があり、現状と今後の対応について説明があった。

○要修正箇所

第2回研究会・花田氏講演録のP.37掲載スライド【DOIの仕組み】
(P35掲載【図書館と著作権】と同スライドが掲載)

○今後の対応

- ・J-STAGE編集基準により、冊子体と同様のものを公開の上、再来年度の『館灯』にエラータ記事を掲載し対応する。
- ・花田謙一氏には事情を説明の上、上記措置を了解いただいている。
- ・冊子体を配布した館への対応については、今後理事校と検討する。

6. その他

- ・今年度副幹事校の大橋委員（人間環境大学）より、『館灯』編集業務についての引継状況と、今年度は『館灯』が刊行されないため、次年度に向けて編集方針等の確認・検討を進めたいとの報告があった。
- ・藤田医科大学・東海学園大学より『館灯』58号が未着との報告があったため、委員長校で状況確認の上、対応することとなった。